

坂東新聞

2011年5月
阜 月

筑波山南麓地区

山の里母
つくば
田植えを先駆けに
「母の里山つくば」
スタート。

食の重要性・安全性が社会的に注目を集めている。筑波山南麓地区では「母の里山つくば」構想を温めていた。昔ながらの自然と人の暮らしを繋ぐため、古き良き里山の営みを坂東太郎流に新しい「つくば」の文化と融合させ、自然と共存しながら、食を通じて広めていく。その「母の里山つくば」のスタートとなるイベントが平成23年5月11日(水)筑波山南麓、白井地区の田んぼで、坂東太郎の店長・白井幹部・取引業者・総勢100名で田植えが行われた。この日は小雨が降り、その季節にしては肌寒いあいにくの天気。まさに自然の営みの中の田植え。



田んぼの管理について語る松崎氏
筑波山南麓地区について語る森田氏
手植えでの田植えスタート

田植え体験とばんどろ流「さなぶり」体験



田植え体験の様子。多くの人々が田んぼで作業している。

田植えが終わった後、無事に終わったことと農作への願い、神への感謝を込めて早苗(さなぶり)を盛り上げる。早苗(さなぶり)が坂東太郎流に行われた。こうして「しろかきをする」「田植えをする」「早苗しりをする」「稲刈りをする」一年を通じて自然と共に、そんな伝統的な日本古来の農作業を通じて、食べ物のありがたさ、大切さを学び、働く仲間の大切さ、自然の恵の広さを感じた。これから坂東太郎が進むべき道を確認する田植えであった。



早苗(さなぶり)を盛り上げる。坂東太郎流。



5月29日(日)鳴り砂で知られる気仙沼・離島・大島 4回目の炊き出し支援へ

宮城県北東部の気仙沼湾内に位置し、航路距離7.7kmの東北最大級の有人離島です。気仙沼港の観光桟橋(エースポート)から船に乗れば、30分ほどで到着します。北部にそびえる海拔235mの亀山からは全島が一望でき、その景色は「緑の真珠」と大島出身の詩人水上不二の詩にも詠まれています。島の海岸線は屈曲が著しく、龍舞崎、十八鳴浜、小田の浜など自然がたっぷり出た美しい景観が多くみられます。陸中海岸国立公園と海中公園に指定されている気仙沼大島は、「見て・遊んで・楽しめる」気仙沼には欠かせない観光地となっています。是非、足を運んでください。

支援の手がまだ入っていないこの島へ(社)境青年会議所・境青年会議所OB会・坂東太郎で向かいます。



地震で液状化により傾いた看板と泥水が吹き出した駐車場。

お店を再開させることが出来た。また、スーパードが開設できず、食料品を手に入れることが困難となる中、一日でも早く食事をしたいという思いから「復活弁当」を販売していた。日本テレビではその道程に注目し4月下旬に取材を敢行。5月25日(水)に放送する運びとなった。

復興の思いを
込めた
復活弁当

自らも被災した金壽店長とそれを支えた仲間



金壽店長(写真中央)と仲間

「(仮)密着!被災地『ばんどろ』親孝行サービス奮闘記」として放送
5月25日18時16分〜18時35分の間・日本テレビ「ニュースエブリイ」特集コーナー
5月25日TV放映決定

らいふくいっしょうもち

福来一升餅

祝い餅福来袋と
誕生紅白一升餅
4,300円(税込)

ドレッシング

ドレスッシングギフト
5本セット 3,066円(税込)
3本セット 1,544円(税込)

お中元・ご贈答に
お求めは坂東グループ各店舗へ

お求め安く
80g【8g×10パック】
714円(税込)
近日発売!!

かあさんの
極上だし
240g【8g×30パック】
1,850円(税込)
お中元に各種ギフト詰めもご用意しております。